報告　職種別研修会（移乗介助）を実施しました

遠賀町介護サービス事業者連絡会研修会「"できる"を引き出す移乗介助～多職種で考える自立支援～」

講　師　おんが病院訪問看護リハビリステーション　理学療法士 林　剛己 氏
　　おかがき病院通所リハビリ　作業療法士 浅田 大輔 氏

日　時　令和8年7月24日（金）18:30～20:00　　会　場　遠賀町役場



移乗動作のボディメカニクスや残存能力を活かした移乗介助などについての講話、グループワークで移乗で困ったことや課題と感じていることをまとめて、解決方法や考え方について解説していただきました。また、移乗に関わる福祉用具の使い方を福祉用具専門相談員の方から指導していただきました。

メディカルケアステーション（MCS）

医療・介護従事者のためのコミュニケーション・情報共有ツール

MCSは医療介護専用の完全非公開型SNSで、多職種連携のためのコミュニケーション、情報共有ツールです。必要な情報を関係者間で共有することができます。



遠賀中間地域連携コミュニティ

遠賀中間地域の医療機関や介護サービス事業所等を対象として、MCSの自由グループを作成しています。コミュニティに参加してつながりに登録すると患者グループへの招待や参加がスムーズです。詳細は在宅総合支援センターまでお問い合わせください。

遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップ

遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップを遠賀中間地域在宅医療・介護連携推進事業のホームページ **つなぐ在宅ネットおんがなかま** に掲載しています。遠賀中間地域の医療機関や介護サービス事業所を、所在地や対応内容等から検索して閲覧できます。どなたでもアクセスできます。ぜひお気軽にご利用ください。

資源マップはコチラ▲



在宅医療に関する医療機器整備（無料貸出）

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

＜医療機器貸出物品＞

○ ポータブル吸引器　○ ポータブル吸入・吸引両用器　○ ネブライザー
○ 点滴スタンド　○ 自然落下式輸液ポンプ　○ PCAポンプ
○ カフティポンプ　○ カフ圧計　○ もの忘れ相談プログラム



ネブライザー



PCAポンプ

在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療に関する相談窓口があります。遠賀中間地域1市4町の地域包括支援センター等と連携してご対応させていただきます。
専門のスタッフがおりますのでお気軽にお問い合せ下さい。

在宅医療相談窓口

受付時間　月～金曜日 9時～16時
電　話　093-281-3100
ＦＡＸ　093-281-3105



発行　遠賀中間医師会　在宅総合支援センター
〒811-4342　遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2
TEL 093-281-3100　FAX 093-281-3105
URL：http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/

遠賀中間医師会　2026年9月18日発行　第27号

在宅総合支援センターだより

在宅医療・介護連携推進事業

報告　多職種研修会（心不全）を実施しました

テーマ　知っていますか?心不全を防ぐ“コツ”
日　時　令和8年7月23日（木）19:00～20:30
会　場　遠賀中間医師会館 多目的ホール
講　師　遠賀中間医師会おんが病院 副院長 循環器内科部長　吉田 哲郎　氏
　　遠賀中間医師会おんが病院 心不全療養指導士　大島 弘三　氏
　　遠賀中間医師会おんが病院 心不全療養指導士　吉村 美歌　氏





心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気と定義されています。症状がなくても高血圧や糖尿病といった生活習慣病に加えて肥満やメタボなどはリスク因子であり、非常に多くの方が該当します。生活を整えて心不全を予防することが重要です。再発を繰り返す状況になると全身状態が増悪前の状態に戻らなくなるため、安定した状態をいかに長く保つかがポイントになります。

今回の多職種研修会は、心不全についての基礎的な知識を得ること、入退院支援における医療・介護連携の重要性について理解を深めること、心不全による再入院を防ぐために病院で行われている心不全チームの取り組みから病院と在宅チームの連携の具体像を共有することを目的に開催しました。

講演とディスカッションにて、心不全を予防するうえでのポイントや病院での取り組み内容、在宅チームとの連携等について大変分かりやすく説明していただきました。心不全の問題点は十人十色であり個別対応が必要であること、退院直後の脆弱期は再入院リスクが高いこと、病院で活用されているピクトグラムが印象に残りました。入院中の取り組みの在宅への引き継ぎを確実に行うこと、早期発見・早期対応のために多職種間の情報共有について考えさせられました。

研修アンケートでは「治療は薬だけでなく塩分、フレイル、服薬忘れなどの生活の見直しが大事であり、利用者に適したサポートをしていきたい」「心不全は再入院が多いため、複数の目で確認し、早期発見することが大切であると改めて学ぶことができた」「ピクトグラムの活用について印象深かった」等のご感想をいただきました。

お知らせ　住民公開講座のご案内

在宅医療についての講演と映画上映を行う公開講座を開催します。
誰にでも訪れる最期の時間をどう迎えるか、一緒に考えてみませんか?

テーマ　人生をハッピーエンドに ～がんでも自分らしく～
日　時　令和8年11月7日（土）10時00分～12時30分
会　場　遠賀町中央公民館 大ホール（遠賀郡遠賀町今古賀513）
講　師　遠賀中間医師会おんが・おかがき病院 統括院長 末廣 剛敏 氏
受講料　無料



◎映画概要「ハッピー☆エンド」

在宅緩和ケアを選択した5つの家族を取材したドキュメンタリー。住み慣れた家で心と身体の苦痛をやわらげながら自分らしい日常生活を送れるようにする在宅緩和ケア。2,000人以上を看取った萬田医師による適切な指導のもと、患者たちが最期まで自然体で生きぬく姿を映しだす。

◎申し込み方法

電話・FAX・Eメールにて事前申し込みが可能です。詳細は在宅総合支援センターまでお問い合わせください。
※事前申し込みをされていなくても当日参加もできます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

特集コーナー

遠賀中間地域の各自治体における高齢福祉サービスについて
～中間市における高齢者サービス～

中間市地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者が、いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活できるよう、高齢者の生活を総合的に支えていく拠点として、中間市役所介護保険課内に設置されています。専門職の保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が介護保険制度をはじめ、介護予防、虐待・成年後見制度などに関する相談・支援を行っていますので、お気軽にご利用ください。

【申込・問合先】
中間市 保健福祉部 介護保険課　地域包括支援センター
所在地:中間市中間一丁目1番1号　電　話：２４５－７７１６
平日8時30分～17時15分　ＦＡＸ：２４６－２０２７

在宅福祉サービス

あんしん見守り情報キットの配布



高齢者が自宅で具合が悪くなったときなど、万一のことが起きたときに備え、適切な救急医療などの処置ができるよう、かかりつけ医や服薬内容、緊急連絡先などの情報を入れておく容器（キット）を配布します。キットを冷蔵庫に保管することで、救急医療及び親族等への迅速な通報に活かすことができます。
【対象者】65歳以上の高齢者のみの世帯（日中の時間帯のみ該当する人も対象）
【費　用】無 料

緊急通報装置の設置



ひとり暮らし高齢者等に通報装置を貸与し、急病等の緊急事態に迅速かつ適切な対応を図るとともに、医療や介護等の専門スタッフが健康相談等を常時受け付けます。※電話回線と接続するため、固定電話回線がご自宅にない場合は、ご利用いただけません。
【対象者】①もしくは②のいずれかに該当する人
①重度の心疾患等を有し、激しい発作や突然の意識喪失等により、生命に高い影響を及ぼす恐れのある65歳以上のひとり暮らし高齢者等
②身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けているひとり暮らしの人
【費　用】無 料

ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク



住みなれた地域で孤立せずに安心して暮らしていくことができるよう、地域の「見守り隊」による『安否確認』や『声かけ』を通じて、地域社会とのつながりを深めます。
【対象者】65歳以上のひとり暮らしの高齢者等で、次の①及び②に該当する人
①近所付き合いがない人　②自立した生活が困難な人
【費　用】無 料

配食サービス



※実際のお弁当の一例です。

栄養バランスのとれたお弁当を週3回（月、水、金の夕方）お届けします。お届けの際、安否確認や健康状態の確認も行います。
【対象者】安否確認を必要とする65歳以上の高齢者のみの世帯に属する人のうち、食材の買出しや調理ができない等の理由により、食事の確保が困難であると認められる人
【費　用】400円（1食当たり）

その他のはいかい高齢者等への支援

折尾警察署、行政機関、地域の協力機関などが連携し、認知症高齢者等が行方不明になった場合の早期発見・早期保護を図ります。
【対象者】はいかい行動により行方不明となる可能性のある認知症高齢者等
【費　用】無 料
【内　容】①折尾警察署指揮の下「はいかい高齢者等 SOS ネットワークシステム」の捜索
②「コミュニティ無線」を活用した捜索
③「防災アプリ ふくおか防災ナビ・まもるくん」による行方不明情報の発信
④「どこシル伝言板」への登録（認知症患者等の衣服などに貼付したQRコード付ラベルを、発見者がスマートフォン等で読み取ることで、ご家族などに連絡が入るサービス）

オレンジセーフティネット



認知症高齢者等が、はいかい行動により行方不明となった場合に、家族等がスマートフォンのアプリを利用して捜索依頼をすると、その情報を元に、捜索協力者が付近を捜索し位置情報などの情報を共有することで、早期発見・早期保護につなげます。
【対象者】認知症高齢者等
【費　用】無　料（インターネット回線接続料等は各自の負担となります。）
※対象者または、その家族等により事前に登録が必要です。

介護予防・認知症施策のためのサービス

認知症カフェ



認知症を特別扱いせず、「そのままでいいんだよ」を合言葉に、物忘れなどにお困りの方やそのご家族、認知症でお困りの方を応援したい人などが集える場を作りました。
【日　時】毎月第4火曜日　13時30分～15時00分（※9月・2月のみ第3火曜日）
【会　場】中間市チャレンジショップ
中間市蓮花寺三丁目7番3号（なかまハーモニーホール横）
【費　用】無料

出前講座/介護予防教室「脳と身体に効果的な介護予防教室」

高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを送れるよう、地域の公民館などに講師が出向き、各種教室を実施しています。